

YS-D1

全てを詰め込んだ
究極のストロボ

YS-D1の魅力が大公開!



YS-D1 (ブラック)
¥58,000 (税込¥60,900)

YS-D1 (うみまるバージョン)
¥58,000 (税込¥60,900)

最大ガイドナンバー32の大光量とまったく新しいTTLシステム。

■単三電池使用でガイドナンバー32の大光量を実現!

クラスを超えた大光量ガイドナンバー32を実現。前モデルのYS-110aに比べて1EVの光量アップと、50gの軽量化、容積比10%減を両立したYS-D1の実力はワイド撮影だけに限定されるものではありません。逆に柔軟な微弱光を要求されるマクロ撮影においても最小ガイドナンバー1まで任意に調節可能です。

■最新自動調光システム「DS-TTL II調光」モード!

従来のDS-TTLからアルゴリズムを見直し、まったく新しいスレーブTTL方式を採用しました。各社のプリ発光するカメラや種類に応じてマッチングするよう発光タイミングをチューニング。より高速レスポンス・より高精度パフォーマンス・より信頼性の高い安定感に注力した「DS-TTL II調光」モードを搭載しています。

■光ファイバーを用いるTTL方式において世界初のEVコントロールシステムを実現!

本発光の光をダイレクトにコントロールすることで、EV単位での正確な光量補正を実現。コンパクト / 一眼カメラを問わず、狙い通りのEV補正コントロール(±4段階)が可能です。

■2種類のディフューザーが付属!

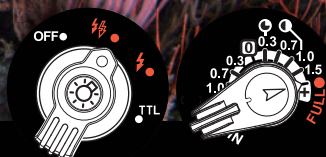
付属の「ディフューザー100」を装着すると100°×100°の均等な円形配光特性を完璧に実現します。ワイドレンズ使用時には「ディフューザー120」といった具合に、80° / 100° / 120°と異なる広照射角の選択ができます。

クラス最高のハイパワー光量がスゴイ!

YS-D1は、前モデル(YS-110a)よりも1EV分の光量が増えています。最大ガイドナンバーは32。これにより、●露出の選択肢が広がる(マニュアル、TTL同様)、●光の届く最大距離が伸びる(色の再現性が良い)などの効果を得ることが可能です。

光の回り方にご注目ください!
2灯でフル発光、付属の「ディフューザー100」を装着した作品です。このようにYS-D1は、強い光量で被写体を鮮やかに照らしたり、空間の広がりや奥行き感を表現することができます。

※「ディフューザー100」を使った場合、ガイドナンバーは24。発光面積が広がることで照射角は円形100°となり、「ディフューザー120」を使った場合、ガイドナンバーは20。照射角は120°になります。



写真提供：古見きゅう 撮影機材：MDX-5D MarkII(Canon EOS 5D MarkII用)+YS-D1×2灯 撮影地：ニューカレドニア



ガイドナンバー32



ガイドナンバー22

GN32とGN22の違い

YS-D1と前モデル(YS-110a)をフル発光させ、同条件で撮り比べてみました。左写真のほうが、明らかにメリハリが効いており、奥のほうまで明るく光が行き届いていることがわかります。

ガイドナンバーとは GNと略され、ストロボの出力を表す単位です。

アップグレードしたDS-TTL IIの精度が気持ちいい!

YS-D1に搭載されているDS-TTL II(※)は、旧DS-TTL方式に比べ、精度とスピードが圧倒的に向上しています。撮影するときも難しい知識は必要ありません。設定はモードスイッチを「TTL」の位置に合わせるだけです。面倒な光量設定は全てYS-D1の性能にまかせて、サクサクとシャッターを切っていきましょう。

TTL撮影とは 被写体の明るさをカメラ側で測光して、適正露出となるようにストロボの発光量を制御する自動調光撮影のこと。被写体との撮影距離が変化しても光量が自動的にコントロールされるので、簡単に適正露出が得られます。

YS-D1 (DS-TTL II) 使用



ストロボ非発光



ストロボ発光あり / なしの比較です。色の違いは歴然です。

一般的なカメラの内蔵フラッシュでは、正面からの直射光が後ろに回らないために立体感が失われ、バック(海)が暗く落ちます。「ストロボ臭い」ベタ光の写真を避けるには、外部ストロボを使いましょう。よりナチュラルな印象にすることができます。

写真提供：阿部秀樹
撮影機材：MDX-X10(FUJIFILM X10用)+YS-D1×2灯
撮影地：串本・須江



左の写真もDS-TTL IIで撮影しています。このように動いている被写体やハレーションが生じやすい被写体でも、ストロボを「TTL」の設定にしておくだけで、みずみずしい魚の輝きや複雑な模様まで正確に描写することができます。通常のTTLが難しい場面でも、YS-D1はシャッターチャンスを見逃しません!

※ DS-TTL II機能を使うには、ハウジングとYS-D1を光ファイバーケーブルで接続することが条件となります。また、一部DS-TTL IIが効かないカメラ機種があります。YS-D1は「スレプトTLモード」を搭載しておりますので、一般的なほぼ全てのカメラに対してスレプトTLでの撮影が可能です。ただし、「スレプトTLモード」時の撮影では、EV補正はできません。

新機能EVコントロールで自由自在な表現が可能!

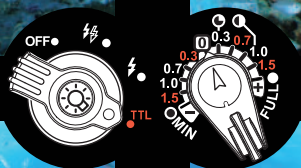
YS-D1のDS-TTL IIは、撮影者の意図に合わせ、スイッチ一つで光の変化を加えることが可能です。カメラ側の露出補正機能を使った場合は、構図全体の明暗も変わってしましますが、DS-TTL IIでは、バック(海)の印象はそのまま、光を当てたい主題だけに強弱をつけられるのです。



-1.5EV補正 (スカシテンジクダイの透明感を表現)



-0.3EV補正



+0.7EV補正

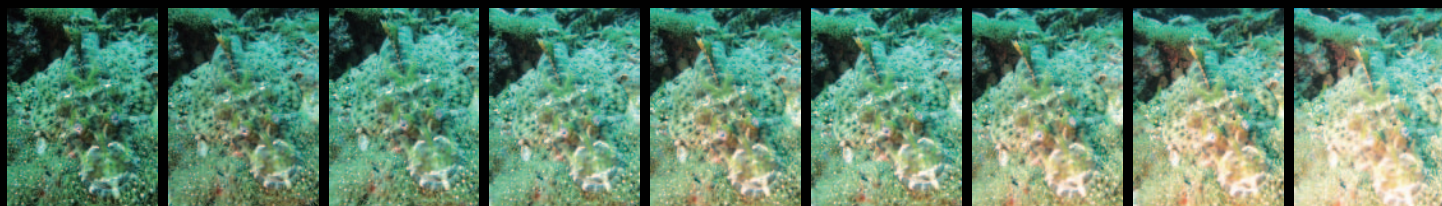


+1.5EV補正 (スカシテンジクダイのキラキラ感を表現)

写真提供: うみまーる 撮影機材: MDX-7D(Canon EOS 7D用)+YS-D1×2灯 撮影地: 沖縄・座間味

EV補正とは DS-TTL IIからのEVコントロールは、このようにマイナス1.5EVからプラス1.5EVまで、光量に対して等倍で変化するように補正をおこないます。

EVとは EV= Exposure Value 露出の明るさを示す数値のこと。



-1.5EV補正 -1EV補正 -0.7EV補正 -0.3EV補正 補正なし +0.3EV補正 +0.7EV補正 +1EV補正 +1.5EV補正

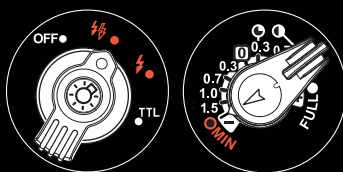
WP-DC38(Canon PowerShot S95用)+YS-D1×1灯で撮影 撮影地: ハバアニューギニア

マニュアル撮影時、GN1の微発光も可能!

もちろん海中という特別な環境で使う以上、TTLの限界を超える接近した状態や、浮遊物がある状態、そのほかカメラの設定によっても思うようなTTL効果が得られない場合があります。

YS-D1はそんな撮影状況に備えて11段階のマニュアル機能も用意しています(光量調節ダイヤル使用時:GN1/1.4/2/2.8/4/5.6/8/11/16/22/32)。最小ガイドナンバーでは、前モデル(YS-110α)が1.4だったのに比べ、YS-D1は最小ガイドナンバー1まで光量が落とせるようになっています。

▶ 右の写真は、同じ条件で撮影したストロボ1灯と2灯の比較です。TTLが難しい場面でも、モードスイッチを「マニュアル」にひねるだけで光量オーバーになる現象を軽減することができます。



RDX-600D(Canon EOS Kiss X5)用+YS-D1×1灯・2灯で撮影 撮影地: ハバアニューギニア



YS-D1×1灯



YS-D1×2灯



ストロボの豆知識 (ストロボとライトの「光の質」の違いについて)



一瞬で撮影するストロボ(閃光)と、見たままの映り方で撮影するライト(定常光)では、使う用途と利点がまったく異なります。取り扱いが簡単なライトに比べ、多少の知識は必要とするものの、基本さえ覚えれば水中撮影の楽しみや味が一気に広がるのがストロボライティングの魅力です。

また、「数千分の1秒」という単位でスピード発光するストロボは、素早く動く魚を速いシャッター速度で「止めて」撮影できるという特性があります。スチール撮影時、「明るさが足りない」「もっと色の再現性が欲しい」と思われる方にはぜひストロボをおすすめします。



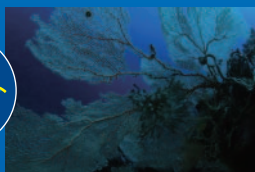
シャッター速度: 1/125 絞り: F16



シャッター速度: 1/125 絞り: F13



シャッター速度: 1/125 絞り: F11



シャッター速度: 1/80 絞り: F14



シャッター速度: 1/60 絞り: F8



シャッター速度: 1/60 絞り: F5

撮影機材: MDX-7D(Canon EOS 7D用)+YS-D1×2灯・LEDライト(大光量タイプ) 撮影地: パプアニューギニア



うみまーるバージョンについて

ウミガメ・ハリセンボン・ミナミハコブグなど沖縄の海に住む可愛い生き物たちをモチーフに、座間味島在住の写真家ユニット「うみまーる」が沖縄の言葉を添えてデザインした国内限定バージョンです。

(うみまーるプロフィール)海を中心に自然のことを伝える写真家ユニット(井上慎也+高松明日香)。沖縄県・座間味島を拠点に、厳しい自然の中でも、のびやかに暮らす生きものたちの姿や、「人間も自然の一部」ということを伝えて続けている。サンゴや海底に触れず中性浮力で撮影する「海にやさしい写真術」を実践し、提唱している。<http://www.umima-ru.com/>

主な仕様

ガイドナンバー	32、24(ディフューザー100使用時)、 (陸上値ISO 100) 20(ディフューザー120使用時)
照射角	80°×80°、100°×100°(ディフューザー100使用時)、 120°×120°(ディフューザー120使用時)
使用電池	4×AA(単3電池) ●A:6V ●Ni-MH:4.8V
発光回数※1	●A:150回 ●Ni-MH:200回
最速リサイクルタイム※2	●A:2.8秒 ●Ni-MH:1.9秒
色温度	5600K
ディフューザー100	5250K
使用時の色温度	
耐圧水深	100m

本体サイズ 幅87mm×高さ135mm×奥行111mm
(突起物・アームホルダー含まず)

重量 650g
(本体のみ、電池含まず、ストロボYSベース・固定ボルト装着)

水中重量 0.5g(電池含む)

その他

- 光量調節: DS-TTL II、スレーブTTL、光量調節ダイヤル使用時 GN1/1.4/2/2.8/4/5.6/8/11/16/22/32(11段階)
- プリ発光対応モード(プリ発光キャンセル機能付き)
- スレーブ同調機能 オートパワーオフ機能
- シンクロコード: 脱着式シンクロコード(Nタイプ)/L型光ファイバーケーブル
- オーバプレッシャーリリーバルブ搭載 LEDターゲットライト機能搭載

※1 発光回数、リサイクルタイムはFULL発光時の値で電池メーカーや温度、使用頻度によって異なります。

※2 ニッケル水素電池の発光回数、リサイクルタイムのデータ値は2400mAh(eneloop pro)で計測したものです。※A:アルカリ、Ni-MH:ニッケル水素

他社製の最新カメラとYS-D1の対応についてはこちらで確認できます。→<http://www.seaandsea.co.jp/products/strobe/compatibilitychart/a.html>

安全上のご注意



正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

●指定以外の電源・電圧、接続コード・ACアダプターは使用しないでください。火災、感電の原因となります。●画面が映らないなどの故障状態で使用しないでください。火災、感電の原因となります。●内部に水や異物が入った場合や煙が出ている、へんな臭いがあるなどの異常状態で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

□本製品は、シーアンドシーの製品は、全国のダイビングショップ及びダイビング関連器材取扱店でお買い求めいただけます。掲載の製品については、下記のシーアンドシー国内営業部までお問い合わせください。

お求めは信用ある当店で



シーアンドシー・サンパック株式会社

〒145-0062 東京都大田区北千束1-4-6 トーカドビルB1

TEL.03-5701-5533 FAX.03-5701-5561

※製品の実売価格は、販売店にお問い合わせください。

※本製品の仕様及び外観は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

詳しくはシーアンドシーホームページをご覧ください。 www.seaandsea.co.jp